

## 欧州における家族経営論と人材育成の社会的システム

—イギリス及びアルプス周辺地域を事例として—

13:00～15:45（予定）

コーディネータ 南石晃明（九州大学）

座長 飯國芳明（高知大学）、土田志郎（東京農業大学）

第1 報告 家族農業経営を基礎とした政策理念と制度—スイスの場合—  
飯國芳明、南石晃明

第2 報告 Farm Business Perspectives in Europe: Family and non-Family Farming Businesses in the UK  
Ian Whitehead (Plymouth University, UK)

第3 報告 ドイツにおける農業人材育成制度  
淡路和則（名古屋大学）、南石晃明、飯國芳明

第4 報告 イギリスにおける農業人材育成の現状と展望—農業教育機関の役割に着目して—  
内山智裕（三重大学）、Alan McGeorge, Ian Whitehead

総合討論

\*報告時間は総合討論以外 20 分、報告時間後 10 分のほか、座長解題 15 分、総合討論 30 分の予定です。

### ■ 開催趣旨

近年、日本では伝統的な家族経営の範疇を大きく超えた経営体が出現し、次世代の農業を担う経営のひとつとして有力視されるようになってきている。これに対して、同じ先進国でありながら、アルプス周辺地域では伝統的な家族経営が農業の担い手であるとの理念は揺らいでいない。また、企業化が進展していると思われがちなイギリスでも「家族経営化」が進んでいる実態がある。両者の動きは対照的であり、農業経営を取り巻く環境が厳しさを増す先進国で、伝統的な家族経営を重視する姿勢が堅持されている様子は驚異的すらある。本セッションでは、イギリス及びアルプス周辺地域の農業の実態や政策を検証するとともに、農業経営の担い手を育成する仕組みを詳細に整理することで、これら地域の伝統的な家族経営を支える条件や理念さらには制度を明らかにしたい。このことは日本農業・農政のあり方を先進国の中で相対化し、適切に位置づけるための基礎作業となる。